土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　砂防工事全体計画書作成業務

事　業　・　工　事　名

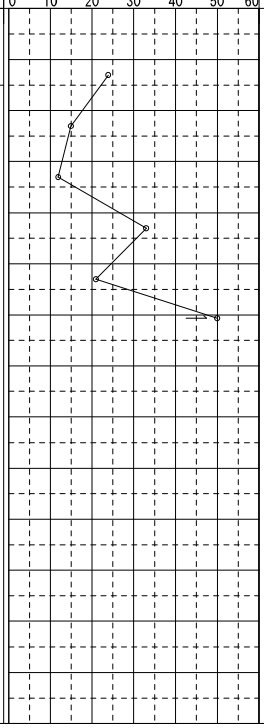
調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	Bor No.4-西ノ谷川支川-補助基準点1	調査位置	広島県安芸郡海田町	北緯	34° 21′ 18.0567″
発注機関	広島県西部建設事務所	調査期間	令和2年11月30日～ 令和2年12月 2日	東経	132° 33′ 28.1538″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 141.20m	角度	180° 上 90 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 90° 西 東 180° 南
総削孔長	9.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦D1B-58 / エンジン：ヤンマーTF120V-E / ポンプ：東邦BC-3C

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	139.70	1.50		礫混じり砂		褐	rd3		木片を混入する 中～粗砂を主体とする 径5cm以下の礫を20～30%混入する	11/30 1.50
2				玉石・礫混じり砂		灰褐	rd3		L=7～10cm程度の玉石が混入する 砂は中～粗砂を主体とする 径7cm以下の礫を30～50%混入する 部分的に玉石が連続する	
3										
4										
5	135.50	5.70					rd4 rd3		部分的に礫を多く混在し砂礫状を呈する	
6	135.10	6.10		花崗岩		淡灰褐			DH級 風化が進行し撹乱すると土砂～細礫化する	
7	133.20	8.00		花崗岩		淡灰			CM級　コア肌はやや粗い L=15cm以下の柱状コアで採取するが部分的に岩片～細礫化する 岩片状コア部は脆くハンマー軽打で砕ける	
8	132.20	9.00		花崗岩		淡灰			CH級 L＝20～30cm程度の柱状コアで採取 亀裂面は若干変色している	
9										
10										
11										
12										
13										
14										

標準貫入試験

深度―N値図



N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
24	1.15	9 / 110	6 / 90	9 / 110	24 / 310		
	1.46						
15	2.15	6 / 110	4 / 130	5 / 70	15 / 310		
	2.46						
12	3.15	5	3 / 110	4	12 / 310		
	3.46						
33	4.15	10	13	10	33 / 300		
	4.45						
21	5.15	8	6 / 110	7 / 90	21 / 300		
	5.45						
50以上	6.05	50			50	30	
	6.08	30			30		

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				11/30
				12/1
				12/2